

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回所沢市文化財保護委員会
開 催 日 時	令和 6年 3月28日(木) 午後3時30分 から 午後5時00分
開 催 場 所	生涯学習推進センター3階 研修室
出 席 者 の 氏 名	林 宏一 新井政明 金井秀人 宮本八恵子 羽生修二 佐藤孝之
欠 席 者 の 氏 名	金澤 光 新藤康夫 田中 信
議 題	議事 1 所沢市指定文化財の指定について(諮問) 報告 1 文化財保護課事業報告 2 その他
会 議 資 料	・会議資料1 諮問(案) 所沢市指定文化財の指定について ・報告資料1 文化財保護課事業報告 ・報告資料2 文化財巡察報告書(概要)
担 当 部 課 名	教育総務部 部 長 千葉裕之 次 長 池田 淳 文化財保護課 課 長 稲田里織 主 幹 川島一禎 副主幹 内野忠雄 主 査 赤松正美 主 査 鈴木 蘭 主 任 宮内洋英 主 任 木村立彦 教育総務部文化財保護課 電話04(2991)0308

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>議 長 事務局</p>	<p>1、開会 2、教育長あいさつ 3、文化財保護委員長あいさつ 4、議事 林委員長が議長となり、議事を進める。 「所沢市情報公開条例」に基づき本会議、会議資料、会議録の公開について諮り、公開とすることを議長が宣言。次に、会議録については要約方式、発言者の委員名は出さず「委員」の表示とすること、会議録の確定は議長（委員長）の承認で行うことを確認した。</p>
<p>委員長</p>	<p>（1）所沢市指定文化財の指定について（諮問） 事務局から説明をお願いする。 諮問理由等について事務局より説明 ※中島教育長から林委員長へ諮問書が手渡される。 中島教育長から正式に「鈴木源太郎家所蔵資料」の文化財指定諮問書をいただいた。既に各担当委員により何回かの会議や調査が行われているが、今後、より詳細な調査をし、指定に向けての審議を進めて行きたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>本日は現地で、古文書と書画関係を、そして生涯学習推進センターで民俗資料関係を、実際に見ていただいた。 書画関係については、指定に向けて資料の選別が必要になる。民俗資料については、担当委員により、大変な数の資料を深く調査をしていただき、資料の奥行と広がりがありつつある。 本日見た資料は、担当がそれぞれ目をとおしているわけだが、改めて何か付け加えることはあるか。</p>
<p>委員長 委 員</p>	<p>古文書は、所沢の近代歴史がわかる資料であり、行政的な資料ももちろんだが、鈴木家の生活環境も歴史を裏付ける資料だ。民具担当委員の話にもあったが、古文書の中で織物と養蚕の関係など、お互いに証明ができるという意味でも史料群として指定していくのに相応しいのではないか。</p>
<p>委員長 委 員</p>	<p>書画関係では、何か付け加えるようなことはあるか。 今日見たのは、石川文松の 4 枚の襖絵と、所沢飛行場関連の方々の書 20 点。まだ膨大な絵画がある。その中には所沢ゆかりの作家群と、鈴木家と交流・親交があった人たちの作品群がある。それらを、他の委員のご意見を聞きながら資料選別を進める事が重大なことだと思っている。所沢ゆかりの作家それぞれいるが、その作品群をどのように位置づけていくかが今後の課題だ。</p>
<p>委員長 委 員</p>	<p>民俗資料は実際こちらで拝見した。付け加えるコメントはあるか。 指定対象を調査した結果、員数について点数の変更が出てきた。どのようなジャンルの民具を指定対象として加えたか、という事を加筆して本日の資料として配布した。 鈴木家には、農具、製茶用具、養蚕の近代化を進めた養蚕用具、機織り用具、所沢の飛行場関係を示す資料、数々の行政の役職を務めながら地域のリーダー的な存在であった事を示す社会生活資料がある。この中から指定対象として選定した。 現在行われている土蔵調査の中で、三十人前くらいを賄えるよう</p>

委員長	<p>な「人寄せ用」の膳椀類が運び出されているが、全く精査がされていない。次年度以降に精査、答申するまでに指定対象とできるものが発見出来たら追加をしていきたい。時間を要するようであれば、本日お配りしたリストを線引きの範囲としたい。</p>
委員長	<p>その辺は今後の精査の進行状況によるが、できれば一括ということでよいか。次年度の審議の中で各委員の意見を伺って、調査の進行状況を見ながら検討していくということによいか。</p>
委員	<p>建物について何かあるか。</p>
委員	<p>これだけの資料が残っており、民具が使用されていた状況や、記録が全て総合的に残っていたら素晴らしいが、残念ながら建物は残らない。資料や、建物の空間があって始めて価値が市民に伝わり、近代の暮らし方というのが具体的にわかる。空間もイメージできるような形で、是非記録を残してもらいたい。</p>
委員長	<p>事務局との打ち合わせで、画像データで記録を残していく準備を進めていると聞いた。確かに器があっても、あれだけの資料を蓄積してきた鈴木家の業績を理解するために、ぜひ記録を残すことを進めていただきたい。</p>
委員	<p>だいぶ懐かしいものがあったようだが、委員の皆さん今回実物を御覧いただいていたか。</p>
委員	<p>今日初めて鈴木家に伺ったが、近代の改修が多く、元々の状態が判らない。例えば復元をすとしても、近代・現代の改修を取り払い、当時の状況に近い環境で展示をしたら民具が生きてくるのではないか。</p>
委員長	<p>その辺りはこれから画像なり記録をしていく中で、古い図面なりデータが出てくれば、改修以前の状態をある程度想定するというのは可能か。</p>
委員	<p>むずかしいと思う。養蚕農家になる前の形はわからない。</p>
事務局	<p>前回会議で次年度予算計上検討案として報告した、鈴木家住宅解体部材保存については、市の財政状況も厳しく、急遽 3D 撮影データを記録として保存していくこととした。</p>
委員長	<p>5 月には解体される予定であり、短い期間になるが、撮影だけはしっかりと行いたいと思っている</p>
委員	<p>建物だけでなく、敷地も色々と動かしているので、古い図面も上手く取り入れながら記録保存を進めていただきたい。</p>
委員	<p>そのほか各委員何かあるか。</p> <p>鈴木家の元々の原型の形が重要だというのはすごくわかるが、鈴木家の暮らしが大きく動いたのは明治の中期からだと思う。明治 24 年に児玉郡の養蚕結社から教授陣を招いて指導を受けたことから大改造が始まっている。現在母屋は東を向いているが、元々は南を向いていた。西日が当たりすぎると蚕室が出来ないという指導の下で、90 度転換して東に引っ張った。それをきっかけにして今度は二階に蚕室を増築し、養蚕仕様にしながら明治 27、8 年にかけて大改造が行われている。</p> <p>明治 44 年の飛行場開設の時は VIP を泊める客間を裏側に増築した。これも近代の鈴木家の大きな転換点なので、その点の濃密な変化のところを記録するのはすごく大切だと感じた。</p>

<p>委員長</p>	<p>その辺は事務局で各担当委員のご指摘、ご指導、ご意見も聞きながら適切な記録を進めて欲しい。</p> <p>その他何かあるか。なければこれで今後「鈴木源太郎家所蔵資料」の指定については、審議を進めていくということによろしいか。</p> <p>次に事務局から報告事項をお願いする。</p>
<p>事務局 委員長 委員</p>	<p>5、報告</p> <p>(1) 文化財保護課事業報告</p> <p>①文化財保護グループ報告事項を報告</p> <p>委員から補足等、何かあるか。</p> <p>「刀銘 武州久米住平塚信濃守末孫寿次作」、「脇差 銘(表)武州久米住源寿次(裏)源光人造門人(瓢紋)」については、代替わりで、手入れの方法からわからないとの事で、その場で指導してきた。以前中学生が見に来た時も公開され、これからも見に来てくれる人には公開の協力をしてくれるそうだ。</p> <p>「脇差 銘 武州久米住人君万歳寿次」については、前回視察に行ったときに刀が錆びており、その後研ぎに出したが、研いだ後の処遇が悪く油が乾き錆そうになっていた。その錆を取り除いたがなかなか取り切れず、古い油は全部取りきるよう指導した。8月のお盆の頃に研ぎに出しているそうだが、お盆の頃は湿気が多いので、なるべく油をとり、必ず新しい油を挿してしまっておくように伝えた。</p> <p>代替わりして、心得のない方なのか。好きな方だと自分で手入れするが、関心のない方だとそのままにされてしまう事もあるから難しい。</p> <p>今後はなるべく手入れの方法についても指導していきたい。</p> <p>何れは、代が変わったりしたらこちらで預かって一年に2回くらい研ぎに出すなどすると良いかもしれない。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>では次に何かあるか。</p> <p>「弥右衛門覚書」、「澤田家文書」は二件とも適切に管理されていて、特に問題はない。「澤田家文書」は、古文書以外に版木がかなり出てきている。精査した上で場合によっては追加指定も含めていい。また、周辺の開発がかなり進んできており、澤田家も安心していられないので、その辺が心配だ。</p>
<p>委員</p>	<p>委員が実際に現地に出向き指導できる数少ない機会だが、その辺り事務局が少し目を配る、特に個人で保管している古文書というのは状況を見て持ち主が保管に不安があれば、事務局で寄託を受けるというような検討をしてもよいと思う。</p>
<p>委員長 事務局 委員長</p>	<p>次にふるさと研究グループの報告をお願いします。</p> <p>②ふるさと研究グループ報告事項を報告</p> <p>「お蚕さま今昔物語」この報告書の内容が素晴らしく、確かにほかからの問い合わせがあると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>今は養蚕関係をこういう形でまとめるというのはない。</p> <p>今回は古文書に記録された事実を道具がどれだけ認知できるかということに視点を置き、鈴木家文書を紹介しつつ、鈴木家の物も含めて所沢市域でこれまで収集された道具を、作業工程を全部まとめてみようということで作成した。今、聞き取りをできる方というのはお年寄りでも戦前生まれになってしまう。</p>

	<p>幸いにも 1980 年代から 1990 年代の初め頃に、柳瀬と中富の民俗資料館の民具調査を行ったことがあり、その時の情報がかなり今回役に立っている。その時の情報を基に、今回は実測図をかなり頑張って書いた。</p>
<p>委員長 事務局 委員長 事務局 委員長</p>	<p>欲しいという人には有償頒布しているのか。 千円で販売している。 次に埋蔵文化財調査センターの報告をお願いします。 ③埋蔵文化財調査センター事業報告を報告 来年度から滝の城跡整備検討委員会が 3 回に増えるのは何か意味があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>発掘の成果と委員の先生や地元の意見を聞いて整備の方向性を決めるために、前段階の滝の城の歴史的位置を確定したいというところで 1 回増やした。</p>
<p>委員長 事務局 委員長 委員</p>	<p>ミヤコタナゴは飼育数の底辺があるのか。 3000 尾くらいでキープしたいと考えている。 そのほか何かあるか。なければ事業報告は以上とする。 歴史的建造物整備活用事業について、佐野屋商店と灰屋呉服店の保管部材、「目視可能な範囲における現況調査を実施」とあるが、どの程度の確認をしたのか。相当長い間保管をしているので、どこで確認したか、教えて欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>保管庫の中では見える範囲がかなり制限されるので、可能な限り外に出し、中で確認できる物は空いたスペースで確認した。最終的に全部を細かくとは出来ていないが、大まかな確認をした。使えない物、少し補修をすれば使える物と、ある程度区分けは済んでいるが全部ではない。 今後基本設計や実施設計をする中で、どういったところを使えるのか、使えないのか、再生させていくということも含めて検討していきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>これから秋田家の整備事業が本格化する中で、まだ設計がきまっていないので分からないとは思いますが、保管していた部材が使えないものばかりでは、活用の意味がなくなってしまうので、定期的に保管部材の調査というのはしておかなければならないと思う。大変だが、心してお願ひしたい。 報告の方はみなさんこれでご了解いただいたとする。最後にその他ということ委員の方々なにかあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) その他 以下の文化財保護課令和 6 年度新規事業及び継続の重点事業についての概要を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料等収蔵施設整備事業</li> <li>・国登録有形文化財「旭橋」電灯復元事業</li> <li>・鈴木家資料保存事業</li> <li>・歴史的建造物整備事業</li> <li>・文化財保存活用地域計画作成事業</li> </ul> <p>次年度の審議予定の報告。</p>
<p>委員長 副委員長</p>	<p>以上で議事終了する。 閉会の挨拶</p>